

エコライフDAY2017の取組結果

エコライフDAYは、家庭の二酸化炭素排出量削減をめざし、省エネ・省資源の生活を1日体験する取組みです。

実施日 7月2日(日)～9日(日)

問合せ 環境課 ☎(48) 0331・FAX(48) 2226



参加者数・二酸化炭素削減量

今回の参加者数は6,614人、二酸化炭素削減量は約5,123kgとなりました。

参加者数は昨年と比べると15.6%の増加となりました。二酸化炭素削減量も昨年度と比べると27.9%の増加となっており、取組みとして大きな成果がありました。

項目ごとの取組み状況

項目ごとの実施率では、一番高いもので「お湯や水を流しっぱなしにしないでこまめに止めた」が83.4%、二番目が「部屋を出るときは、明かりを消した」で79.7%となりました。

その一方で、一番低いものは「テレビ画面の明るさを下げた」で、33.0%となりました。

地球温暖化防止には、一人ひとりの認識および行動が重要です。地球の未来のため、少しでも温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出を抑える生活を心掛けるようお願いします。

みんなでエコライフを

家庭では、さまざまなエネルギーが消費されます。その中でも二酸化炭素が多く排出されるのは電気です。経済産業省では、エアコンやテレビなど省エネ家電の選び方や効果的な使い方を紹介し

ています。今後も、家庭におけるエコライフスタイル推進にご協力をお願いします。

※エコライフDAYの取組結果の詳細については、市ホームページ(<http://www.city.satte.lg.jp/>)で公表しています。

今すぐできるエコライフ項目

- ▼エアコンのフィルターを掃除した。(143g・ひと夏で831円の節約)
- ▼テレビ画面の明るさを下げた。(37g・1年で705円の節約)
- ▼テレビなど家電製品を使わないときは、主電源を切ったり、コンセントからプラグを抜いた。(77g・1年で1,456円の節約)
- ▼野菜などの食料品は近くの産地のものを買った。(15g)
- ▼お風呂の残り湯を洗濯に使った。(16g・1年で3,579円の節約)
- ▼出かけるときは自動車に乗らずに、徒歩・自転車・バス・電車を利用した。(299g・1年で2,765円の節約)

※()内の数字は、1日に減らせる二酸化炭素量

児童館へいこう

児童館では、毎月子どもと保護者を対象とした楽しいイベントを開催しています。

問合せ 児童館 ☎・FAX(43) 5521

▼手形or足形で

かわいいARTを作ろう

とき 11月17日(金)午前10時
30分～11時30分

講師 岡野 奈菜氏(Little Art)

対象 乳幼児と保護者

定員 15組(申込み順)

持ち物 汚れてもいい服装

▼リズム遊び

とき 11月24日(金)午前10時
30分～11時30分

講師 小野崎 香織氏

対象 乳幼児と保護者

定員 12組(申込み順)

▼幸手おもちゃの病院

とき 11月25日(土)午後1時
～4時(受付は3時30分まで)

内容 ボランティアスタッフによる治療

費用 無料(多少の部品代がかかる場合があります)

※事前申込み不要

▼ハッピーバースデー(誕生会)

とき 11月29日(水)午前10時

対象 乳幼児と保護者

定員 15組(申込み順)

30分～11時30分

対象 10月・11月生まれの乳幼児と保護者

定員 12組(申込み順)

▼英語で遊ぼう

とき 12月7日(木)午前10時
30分～11時30分

講師 石山 ヤヨ江氏(児童英語教師)

対象 乳幼児と保護者

定員 15組(申込み順)

▼生クリームサンド・カップケーキ作り

とき 12月9日(土)午前10時
～正午

講師 長谷川 芳江氏(管理栄養士)

対象 小学生

定員 12人(申込み順)

持ち物 エプロン、三角巾、ハンカチ

▼スノードーム作り

とき 12月13日(水)午前10時
30分～11時30分

対象 乳幼児と保護者

定員 15組(申込み順)

広域農道舗装工事に伴う交通規制のお知らせ

問合せ 道路河川課 ☎(43) 1111 内線 555 ・ FAX(42) 9115



ご理解とご協力をお願いします。

傷んだ道路の修繕のため、広域農道(大字中野地内)において、舗装工事を行います。

この工事に伴い、工事期間中は左記区間を片側交互通行とさせていただきます。

他路線への迂回について、ご理解とご協力をお願いします。

工事期間 12月上旬から

※ 15日間程度を予定しています。

詳細な日程については、工事看板などでお知らせします。

工事時間 午後8時～午前5時(夜間)

交通規制 工事期間中は、工事時間以外も片側交互通行となります。

公共下水道の

普及にご協力を

異物は絶対流入させない

下水道の詰まりや汚水中継ポンプ場への異物流入が増加しています。

より安全に使用するため、つぎのものは絶対に流さないでください。

▼食用油や野菜くず

油は下水道管に流れ込むと冷えて固まり、詰まりの原因になります。

▼トイレトペーパー以外の紙

ティッシュペーパーや紙おむつ、脱脂綿などは水に溶けないため、トイレに流すと詰まりの原因になります。



異物流入で損傷したポンプ

また、たばこの吸い殻、ガムなども流さないでください。

▼髪の毛

髪の毛など糸状のものは、下水道管のつなぎ目に引っ掛かるなど、詰まりの原因になります。排水口の目皿などを置いて、髪の毛が流れないようにしてください。

▼雨水

幸手市の公共下水道は「分流式」といって、汚水のみを処理できるようになっています。

雨水が大量に流入すると、汚水が逆流してトイレなどが使用できなくなったり、マンホールから汚水が溢れ出すこともあります。

○汚水マスのふたが壊れている場合は、早急に修理をお願いします。

○配管に誤りがある場合は、至急改善してください。

○故意に雨水を流入させた場合、罰せられることがあります。

早期接続を

10月末日現在、市街化区域面積の約65・4%の区域で公共下水道が利用できます。今後も生活環境改善のため、公共下水道の整備・促進にご理解とご協力をお願いします。

公共下水道は、みなさんが利用して初めて、その機能と効力が発揮できるものです。

公共下水道を利用できる区域内に建物を所有し、まだ接続していない人は、ぜひ、接続換えをお願いします。

悪質業者にご注意を

市内で宅地内排水設備の点検・清掃が義務付けられているような内容で、清掃などを請け負う業者が見受けられます。各家庭の排水設備の点検・清掃は、個人の責任で行うものであり、義務付けられたものではありませんので、ご注意ください。

問合せ 下水道課 ☎(47) 3340 ・ FAX(48) 0120